

## 桜川市の山桜を偕楽園に植樹

偕楽園内に植樹する「サクラサク里プロジェクト」と「桜川日本花の会」の皆さん



江戸時代、水戸黄門で知られる徳川光圀公は笠間藩と協力して、桜川市（磯部）の桜の保護を行ったとされ、現在の水戸市を流れる桜川は1696年に光圀公が桜川市（磯部）の数百年を移植して、それまでの「見川」から「桜川」に改名されたものです。

このたび、水戸藩開藩400年の記念にあたり、その光圀公が桜を愛し保護を行った功績を称え、「サクラサク里プロジェクト」と「桜川日本花の会」では水戸藩ゆかりの偕楽園に桜川市の山桜を寄贈しました。

## 災害時における救援物資提供に関する協定が締結

### における救援物資提供に関する協定調印式

市と利根コカ・コーラボトリング（株）柴康裕 茨城支社長（写真右）、富谷牛乳株 中田裕美子 代表取締役社長（写真左）との間で協定が締結されました。



5月10日、大和庁舎内で災害時における救援物資提供に関する協定について、桜川市と利根コカ・コーラボトリング（株）、富谷牛乳（株）との間で調印式が行われました。

この協定は、市内で災害が発生、またはそのおそれがある場合、市の要請に基づき、協定事業所が救援物資の提供について協力するというものです。

協力内容は、市の管理する施設内に協定事業所が設置した災害対応型自動販売機内の商品の無償提供および飲料水などの優先的提供となります。

## 岩瀬わくわく連合会からスポーツ芸術文化振興協会に寄付

桜川市わくわく連合会の萩原 廣会長（写真右から2人目）と会員の皆さんから、中田市長（写真左から3人目）に寄付金が手渡されました。



桜川市わくわく連合会（萩原 廣会長）から、市のスポーツ芸術文化振興協会に寄付がありました。

これは、4月に岩瀬体育館（ラスカ）で行われた、「22年度チャリティー文化祭」に参加された会員の方などから、愛の募金を募り、少しでも市のスポーツ・芸術・文化の振興に役立てていただければと寄付されたものです。

この催しは、今年で7年目を迎えますが、これまでも同連合会は車椅子や杖などの福祉用品も寄付されています。

## 水芭蕉の白い花に魅せられて - 真壁の植竹さん -

自宅で鉛筆ほどの細い苗から育て始め、今では真壁町内の近くの神社やお寺に無償で配付しています。



白い袈裟に身を包んだ水芭蕉の花が、真壁町羽鳥地区の永林寺（後藤通男住職）前の湿地に咲いていました。

真壁町田の植竹一郎（80歳）さんは、10年ほど前に群馬県の尾瀬を訪れた際、水芭蕉の苗を購入したのを機に水芭蕉を育て始めました。

水芭蕉は白い花を開かせるまで、3年から5年を要するため、毎日の手入れを欠かさず行っているそうです。

水芭蕉を欲しい方には、鉢植えなどにしたものを配りたいとも話していました。